

ふるさと銀河線に乗って、「銀河鉄道の夜」の世界へ誘う朗読劇

皆さんは11月27日が何の日かご存知ですか？

そうです、それは宮沢賢治の最愛の妹としの命日です。父親との確執に悩んでいた賢治の良き理解者であったとしますが、僅か24歳でこの世を去ってしまった時の賢治の悲しみは想像以上のものだったのです。その時の様子は「永訣の朝」に現れていますが、としを失った賢治の悲しみは幽霊や幻聴を見るに至ってとうとう1923年8月北海道への感傷旅行へと向かうのでした。賢治が向かったのは樺太ではありましたが私たちが住んでいるこのオホーツクで、ここに大きな縁を感じますね。賢治はこの極寒のオホーツクで必死に生きている人々を見ながら、としの死を受け止めようと必死に自分と闘っていたのでしょう。それが、「オホーツク挽歌」であり、帰花後に旅の体験を表現した「銀河鉄道の夜」なのでしょう。孤独と悲しみの中から、本当の幸せを模索する賢治は、ジョバンニとカンパネラに兄妹を重ねたのです。「銀河鉄道の夜」の朗読劇の中から、「本当の幸せ」の意味を考えてみませんか？

賢治とアイリッシュミュージックと星空のコラボレーション

今回は賢治の世界とアイリッシュミュージックのコラボレーションに挑戦します。アイリッシュミュージックが賢治の世界をどう表現するのか、そこからどんな音楽が誕生するのか楽しみです。そして、賢治が表現した星々は小利別の夜空ではどのように輝くのでしょうか？きっと美しい星々との出会いがあるでしょう。

ディナーは沿線の特選素材を中心にレストラン「ベル・ポック」の三俣シェフが腕を振ります。

ラムのロースト	沿線ではありませんが、白糠産の安全なラムを使います
オニオンスープ	境野 福沢農園の無農薬たまねぎを使って
ポテト	訓子府 中西農場の無農薬ジャガイモを使って
チーズ	池田 ハピネスフロマージュのラクレットを使って
パン	北見 道産小麦にこだわるオーズブレッドのバター

ちょうちん作り、賢治クイズを楽しむ

行きの銀河線の中では星空鑑賞のためのちょうちん作りをしたり、帰りの銀河線では賢治にまつわるクイズを行います。素敵なプレゼントがあるかも。

日 程		料 金
11月27日(日)	15:50 北見駅集合	(往復交通費、食事代を含む) 大人(中学生以上)5000円 子供(小学生)3000円
	16:12 北見駅出発	定 員 40名
	紙芝居・ちょうちん作り	☆ 申し込みはお電話でお願いします。 定員になり次第締め切らせて頂きます。 尚、途中乗車、下車される方はお問い合わせ下さい。
	17:37 小利別駅到着	
	小利別集会所到着	
	星座観察	
	ディナー	
	アイリッシュミュージックコンサート	
	朗読劇	
	20:32 小利別駅出発	
	賢治クイズ	
	21:18 北見駅到着・解散	申込み・問合せ 0157(61)5057 佐藤まで